

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和7年4月1日	作成担当部署	ふるさとプロモーション課	電話番号	69-2111	代表者	代表取締役社長 西村 賢
名称等	名称	株式会社 東郷町ふるさと公社		所在地	〒883-0211 日向市東郷町坪谷1267番地		
	設立年月日	平成9年10月16日		電話番号	TEL: 0982-69-7720 FAX: 0982-69-7721	ホームページアドレス	https://bokusui-park.com/
資本金	30,650千円	設置目的	第一次・第二次・第三次の枠組みにとらわれず、あらゆる経営資源を活用し、業務を多角的・複合的に行う	事業(業務)内容	牧水公園の管理運営業務		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額(千円)
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R6年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	R6年度
	4	0	0	4	1	53.8	11,381
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)						
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		R4	R5	R6			
	① 運営補助金	100	230	0			
	② 指定管理料	23,000	24,000	24,000			
	③ 貸付金	0	0	0			
	④ その他(業務委託)	0	0	0			
	合計	23,100	24,230	24,000			
	・短期貸付金残高	0	0	0			
	・長期貸付金残高	0	0	0			
合計	0	0	0				
(2)人的支援(人的関与)	市の出資割合が97.9% 市長が代表取締役社長に就任している						
(3)その他の取組(その他の課題)	・指導・監督の強化 ・情報の公開						
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	構築された業務マネジメントの適正な運用管理による月別事業実績等から経営状況の検証を行い、繁忙期と閑散期の経営形態の見直しを継続するとともに、日常業務における管理体制の充実・強化に努めます。		施設のネット予約システム(なっぷ牧水公園)導入効果もあり、施設の利用率に伴い売り上げも増える状況となりましたが、円安等の影響での付随する必要経費や消費税・法人税等の増加、資材高騰等による再委託業務である草刈・樹木管理業務も年々増加しており、厳しい財政状況ではあります。毎月の会計事務所の比較損益計算書・比較貸借対照表をもとに経営状況を把握し、社員間の情報共有を図り、軽微な修繕や外部委託していないグラウンド及び期間外の草刈り・落ち葉等の片付けを実施しています。会社としてはコテージの冬場の寒さ対策として、セラミックファンヒーター・遠赤パネルヒーター5台、コテージのフローリング用のスリッパを購入しています。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 現状、可能な範囲で経費の見直しは行われていますが、利用者増加に伴い持ち出し経費も増える悪循環が続いており、売上増加が厳しい状況です。利便性向上の取り組みによって売上は増加していますが、施設の維持管理業務が主体となっているため、魅力向上に向けたより積極的な施策が求められます。 当期純利益は590千円程度ですが、物価高騰により維持管理費の増加が見込まれ、経営への影響が大きいことから、入札などを活用した適切な価格転嫁が必要です。	
	自主事業の実施	継続して実施する自主事業については、多面的な視点でのリニューアルを行いながら施設の利用促進を推進します。		今年度の自主事業については、他の大会や練習試合との日程が合わず、また、インフルエンザ等の増加により、開催を見送りましたが、次年度以降は、ソフトテニス・サッカーのスポーツ大会、若山牧水記念文学館との共同による短歌塾等の開催も踏まえ、利用者数の増加に努めます。旧牧水庵で開業した飲食店との連携したイベント等も検討しましたが、年度途中での撤退があり、実現には至りませんでした。コテージ利用者からの要望もあり、BBQコンロの貸出及び炭の販売については継続して実施しています。また、4月のつつじ祭りでは地元の猟友会の協力のもと猪汁の販売を行いました。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input checked="" type="checkbox"/> 不十分であった 自主イベントの実施が難しい状況で、利用者対応が中心となっているものの、利用者数減少を踏まえると自主事業の継続と魅力的な内容への見直しが重要です。昨年とほぼ同様の取り組みにとどまっており、新規性が乏しいため、担当課も一定の関与を持ち、より積極的な支援や工夫を検討すべきです。	
	施設間連携の強化	施設間、外郭団体、地域の自治会等との連携・協力体制を強化し、相乗効果のある事業を実施します。		4月のつつじ祭りではまつり実行委員会(東郷まちづくり協議会)と連携し、まつりの運営や鯉のぼりの掲揚等を行うとともに、地元の猟友会の協力のもと猪汁の販売を行いました。また、9月の「牧水祭」や10月開催の「オーガニックマーケット」前には周辺の草刈り等を行うとともにイベントへの協力を行いました。今後は、東郷まちづくり協議会や隣接する若山牧水記念文学館及び令和7年度から開業予定の飲食店との連携・協力体制の維持・構築に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 飲食店との連携は曜日や日程の調整が難しく常設的な連携ができていないため、改善が必要です。市内の業界団体や地域の組織と、より積極的に連携を図る取り組みが求められます。 令和5年以降、地元との連携は進んでいるものの、東郷町域にとどまらず、広域的な視点での連携も検討すべきです。他自治体の例も参考にしながら、地域特性を活かしたイベントとの開催も視野に入れ、情報発信効果の向上と地域協力の強化を目指してください。	
市による財政的なリスクへの対処のため	施設維持補修経費の確保	老朽化等に伴い発生する施設更新・修繕費に必要な財源確保に努めます。		河川プール更衣室棟の改修工事、旧牧水庵の外部塗装、空調設備工事を行いました。電源立地地域対策交付金を活用し、また、軽微な修繕は職員で行いました。令和7年度は、擬木柵補修工事、駐車場舗装工事等、令和8年度は、トイレ外壁補修工事等を実施予定です。今後も必要な財源を確保し、計画的な施設更新に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 概ね定期的な点検や計画的な修繕の実施が進められていると思いますが、老朽化が進む施設・設備については、維持管理や更新計画の作成とともに、共有しながら適切に対応してください。 市は施設管理により一層関与し、同社の管理範囲と市の負担範囲を明確に区別したうえで、適切な維持管理に努める必要があります。また、費用対効果を考慮し、施設規模の縮小も含めた検討が求められます。	

財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)				
			R4	R5	R6			R4	R5	R6		
		資産合計	46,775	47,213	47,900		経常収益	26,366	28,339	28,920		
		負債合計	3,611	4,085	4,184		うち市からの補助金・委託	20,909	22,048	21,818		
		資本合計	43,164	43,128	43,716		経常費用	25,781	28,115	27,898		
		累積欠損金	0	0	0		経常利益(損失)	585	224	1,022		
							当期利益(損失)	284	△ 36	588		
指標関係	指標(数値目標)		R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績	R7目標				
	財務指標	当期純利益(単位:千円)	2,258	284	△ 36	1	588	1				
		流動比率(単位:%)	1258%	1295%	1155%	1151%	1144%	1144%				
	活動指標	ふるさとの家利用者数	384	935	1,910	2,000	1,619	1,800				
		牧水庵利用者数	0	0	0	0	0	0				
		コテージ利用者数	796	1,515	1,721	1,800	2,057	1,800				
		テニスコート利用者数	2,649	2,323	2,093	2,500	2,484	2,400				
		キャンプ場利用者数	384	384	321	400	282	300				
	自主事業開催回数	0	0	2	2	2	2					
財務・成果・活動指標取組結果		<p>令和6年度における牧水公園の利用状況については、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより団体の合宿利用や夏場のコテージ利用で8月までは順調に増加していましたが、秋以降新型コロナウイルスやインフルエンザの感染症の増加により、年間の利用者は9,303人(イベント等の利用者は含みません)で、前年と比較すると△606人となりました。また、売り上げについては、宮崎県の「みやざき春旅クーポンキャンペーン」の利用により4月から6月の利用が伸び、7・8月の売り上げはコロナ禍前の状態に戻りつつあり、年間の売り上げは7,771千円で、前年と比較すると958千円の増となっています。コテージの利用については、一昨年導入したネット予約「なっぶ牧水公園」でのコテージ利用者が増加したものとされます、しかしながら、キャンプサイトへの進入路が8月の台風による大雨で崩落し、秋のキャンプシーズンに利用ができない状況となりました。</p> <p>3月に開設したホームページ「牧水公園:bokusuiipark」では、施設の情報の掲載や、4月のつつじ祭りに向けたつつじの開花情報や夏の河川プールの遊泳情報をお知らせしており、今後もイベントなど情報発信に努めます。</p> <p>また、利用者のアンケートをもとに、夏場のコテージの暑さ軽減のために10人用コテージ2棟にエアコンの増設を市で対応してもらい、会社としては冬場の寒さ対策として、セラミックファンヒーター・遠赤パネルヒーター5台、コテージのフローリング用のスリッパを購入しました。</p> <p>旧牧水庵で開業した飲食店との連携したイベント等も検討しましたが、年度途中での撤退があり、実現には至りませんでした。</p> <p>今年度の自主事業については、他の大会や練習試合との日程が合わず、また、インフルエンザ等の増加により、開催を見送りましたが、次年度以降は、ソフトテニス・サッカーのスポーツ大会、若山牧水記念文学館との共同による短歌塾等の開催も踏まえ、利用者数の増加に努めます。</p>										
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	経営改善に向けては、設備投資や計画的な更新、地域自治会等との連携強化に加え、自主事業の企画力や情報発信も重要です。利用者の安全確保や利便性向上には限られた人員で責任を持って取り組んでいる一方、観光や人的交流の拠点としての施設の魅力向上には、より積極的な姿勢が求められます。売上高は増加し最終的に黒字となっているため、予算管理は適切に行われているものの、軽微な修繕や草刈りを職員が担う実態があり、そのために指定管理業務や自主事業の企画、施設のPRに十分な手が回っていない状況です。このため、指定管理者の役割や業務分担を改めて見直す必要があります。また、市は今後の施設のあり方を早急に見直すべきであり、費用対効果を踏まえた施設規模の縮小、例えば維持費のかかるコテージの縮小などのダウンサイジングの検討課題です。なお、ふるさと公社については今期をもって解散することとなっていますが、今後の市の管理運営の参考としていただきたいと思います。利用者数は伸び悩む中、健全な経営状況は評価できるものの、経営健全化策の具体的な取組内容が不明瞭であり、コロナ禍以降の利用者数頭打ちを踏まえた分析や運用の見直しに十分に進んでいない点は課題です。											
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果		C	<p>⇒ A 経営努力を行いつつ事業は継続</p> <p>⇒ B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要</p> <p>⇒ C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要</p> <p>⇒ D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要</p>								
第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見	市	今後の方向性	工	<p>⇒ ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続</p> <p>⇒ イ 事業内容等の見直しを行った上で存続</p> <p>⇒ ウ 再建を行いつつ存続</p> <p>⇒ エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡</p> <p>⇒ オ その他()</p>								
		今後の取組について	<p>株式会社東郷町ふるさと公社は、令和7年度の株主総会をもって解散予定です。令和7年度が同社による牧水公園交流施設指定管理の最終年度となり、引継ぎを円滑に進め、これまでの運営実績や利用者の声を新たな法人と共有するとともに、委員会の評価や総括を踏まえ、施設のさらなる魅力向上と地域活性化に向けて連携して取り組みます。</p>									
		今後の取組について	<p>牧水公園指定管理の最終年となる令和7年度は、4月及び6月は令和6年度に宮崎県が実施した「みやざき春旅クーポンキャンペーン」による宿泊料割引が終了した影響や秋以降はインフルエンザの流行等により減少傾向となりました。一方、5月の連休期間や7月・8月は例年並みに売上が回復し、令和8年1月までの売上実績は過去10年間でも上位に位置しています。しかし、物価高騰や円高の影響で経費も増加し、経営は厳しい状況が続いています。今後は決算期である3月末に向けて、さらに集客に取り組んでいきます。</p> <p>インターネットによる施設予約「なっぶ牧水公園」での予約が好調で、集客に大きく貢献し、ホームページ「牧水公園(bokusuiipark)」では、施設やイベントの情報発信を行いました。</p> <p>令和7年度の自主事業としては、春のつつじ祭りに実行委員として参加し、地元猟友会の協力のもと猪汁の販売を行いました。コテージ利用者に好評のBBQコンロ貸出しや炭の販売も実施し、秋にはグラウンドを活用してスポーツ少年団サッカーチームによる大会を開催しました。</p> <p>施設の管理については、委託業者による草刈りやつつじを含む樹木管理を実施し、委託外のグラウンドの草刈りも状況に応じて行い、委託期間外にはコテージ周辺、ちびっこ広場周辺、ふるさとの家、牧水銅像周辺の草刈り作業を行い、公園内の落ち葉清掃も定期的に行いました。軽微な修繕・補修は自前で対応し、公園利用者の皆様が快適に過ごせるよう、「また行ってみたい牧水公園」の維持管理と環境美化に努めました。</p>									
		東郷町ふるさと株式会社										
		その他の特記事項										